

のおお市政

59. 7. 1
No. 412

30周年特集号

ふるさと大野は

盆地のまほろば

青垣めぐり

風薫る

水清ら

山青きふるさと

遠き祖先心直く

勤勉に

不足を言わず

足るを知る

野を拓きて

水を引く

ふるさと大野

賢き人産み

さいはての地に

波のり越ゆ

たくましく

大野のはらから

市民参加の行財政へ

市長 川崎 泰彦

大野市は、たゆみなく発展を続ける中で市制施行30周年の記念すべき日を迎えることができました。市民の皆様とともに、心から喜び合いたいと存じます。

思いますに、当市の市勢が今日このような順調な歩みを続けることができましたことは格別のご支援・ご指導を賜りました国・県ご当局と関係議会議員各位のご厚情と、大野市議会・市内各種団体ならびに市民各位の絶大なご尽力のたまものであります。この機会に改めて深く感謝の意を表します。

市民がこの30年間に体験した出来事を簡潔にまとめますと、困難な財政事情のもとで新生大野の基礎固めを行うため、市民が心をひとつにして生産基盤の確立と生活関連施設の整備を精力的に進めた時代といえましょう。

今後の市政の課題は、固定化した経済の安定成長に順応するため市民の自治意識を高揚して民力の積極的な参加を求め、より健全な行財政基盤を確立して、たくましい活力を備えた理想郷を実現することです。

市制30周年を契機として、4万3,000市民がさらに融和と共同の意識を奮い起こし、常に一体となって目的の達成にまい進する体制づくりを強化したいと願っています。

今後なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、併せて皆様のご多幸を心から祈念してごあいさつと致します。

一層の前進を目指して

市議会議長 兼井 藤波

2町6カ村の飛躍的な発展と新しいまちづくりを目指して、昭和29年7月1日に大野市が誕生して以来、今や30年を迎えました。名実ともに順当な進展をみておりますことを、市民の皆様とともに心からお喜び申し上げます。今日まで、幾多の試練に遭遇しながらも見事に克服し、45年7月1日には西谷村を編入して福井県の面積の13%を占める広大な田園都市に成長致しました。

国や県をはじめ各関係機関のご支援のもと振興計画に基づき、文教施設の整備充実は無論のこと各分野で目覚ましい発展を遂げてきました。さらに、立ち遅れていた道路網の整備なども着々と進められ、豊かなふるさとづくりが行われてまいりました。

これもひとえに、先輩各位のご尽力と市民の皆様のご協力のおかげのたまものであり、市当局の精進・努力によるものと存じます。

私たちは市の一層の前進を目指し、新しいまちづくりのために、本年を21世紀に向けての市政充実の年としたいと考えます。交通網の整備をはじめ公的医療施設の充実、上下水道の建設などの諸問題に対し、真剣に取り組まねばなりません。市議会と致しましても、決意を新たにして活動を展開し、皆様方の負託におこたえしていきたく存じております。

市民各位におかれましても、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市制施行三十周年を祝う



市発足当時の市街地

青い自然と活力に富んだ心のふるさと

いま21世紀へはばたく大野

大野のあけぼのは縄文時代中期（約 4,000～ 4,500年前）であることが、右近次郎遺跡などから出土した多数の石器・土器によって明らかにされています。

古い文献にも、於保野（大野）和良比夫（蕨生）佐比良気（佐開）などの地名が出ています。

平安時代には加美・資母・大沼の庄名が見えており、そのころ大野盆地は牛ヶ原荘園や平泉寺荘園が支配していました。

しかし、平安時代の終わりころには、武士の興起によって荘園は圧迫され、室町時代には全く滅び去り、代わって斯波氏・朝倉氏などの武士の統領が支配しました。

天正元年（1573年）朝倉氏の滅亡後、一時は一向一揆の支配下となりましたが、間もなく織田信長に平定され、織田の部将、金森長近が大野の大部分を統治しました。

長近は亀山に越前大野城を構築するとともに、京都に模して基盤の目状の城下町を建設しました。

長近の後、織田・土屋・小栗・

松平 4 代を経て、天和 2 年（1682 年）土井利房が大野に封ぜられましたが、勝山・郡上・鯖江・福井の藩領、公料などに複雑に分割され、明治維新まで約 150 年間続きました。

県下で 5 番目の市発足

明治 4 年廃藩、同 6 年区長・権長が置かれ、戸制など多少の変遷を経て、明治 22 年（1889 年）町村制を実施。大野町と下庄・乾側・小山・上庄・富田・阪谷・五箇の 7 村となりました。

下庄村は昭和 26 年に町村制を施行。29 年 7 月 1 日、町村合併促進法により 2 町 6 村が合併して大野市が発足しました。県下では、福井敦賀・武生・小浜に次いで 5 番目に市制を施行しました。

合併当時の人口は 4 万 3,610 人で、世帯数 8,600 戸。今年 6 月 1 日現在の人口は 4 万 2,873 人で、30 年前とほとんど変わりません。

一方、現在の世帯数は 1 万 590

戸で、約 23% の増です。核家族化がかなり進んでいるといえます。

財政面では、昭和 30 年の一般会計の当初予算額は 2 億 3,158 万円。59 年度の当初額は 90 億 3,096 万円ですから、ざっと 40 倍近くになっているわけです。

誕生時の市の面積は 343.56 平方キロメートル。45 年には西谷村を合併したため、541.66 平方キロメートルとなりました。58 年版全国都市要覧によると、全国の市で 23 番目の広さです。

初代の市長は斎藤重雄氏（在任期間 29～33 年）で、森広治兵衛氏（33～41 年）寺島利鏡氏（41～53 年）と続いて、現在の川崎市政に引き継がれました。

田園都市として発足以来、早くも 30 年。度重なる試練を克服し、美しい自然と温かい人間性を生かしながら、明るい文化・産業都市を目指して、いま 21 世紀へ大きくはばかこうとしています。4 万市民が手を携えて「青い自然と活力に富んだ心のふるさと」を実現しましょう。



現在の市街地

明日の大



描く

夢のかけ橋



このイラストは「明日の大野」というテーマで、市内の皆藤賢治さん（春日3、32歳）に自由なイメージを描いていただいたものです。



市制施行を祝うパレード (29年)

私たちのまち大野。幾多の困難を乗り越え、奥越の中核都市として躍進を続けてきました。30年の市政のあゆみと主な出来事を写真と年表で紹介します。

写真と年表でつづる

30年のあゆみ

昭和29年 1954

- 7月 1日、大野市誕生。大野町・下庄町・乾側村・小山村・上庄村・富田村・阪谷村・五箇村の2町6ヵ村が合併。戸数 8,600 人口43,610。
市報第1号発行。
8月 初代市長に斎藤重雄氏就任。

昭和30年 1955

- 1月 初の市議会議員選挙執行、30人が当選。
7月 大野保育園開設。
9月 消防本部・消防署・消防訓練所を設置。

昭和31年 1956

- 6月 有終中で越美北線の起工式。
7月 農業実験室を設置。
8月 打波小の小池分校完成。
11月 中津川と新在家に市営住宅完成(20戸)。

12月 蔵生小校舎改築。

昭和32年 1957

5月 上庄小講堂完成。下庄小校舎完成(初の鉄筋校舎)。

昭和33年 1958

4月 市営農場事業開始。竜仙ノ

ますます発展の30代へ

辻 和子さん(友江 30歳)



正直に言うと、最近まで自分の誕生日が市制施行日だということを知らなかったんです。でも、市内に3人しかいないと聞くと、やっぱり不思議な巡り合わせを感じます。記念式典にも招待され、とても光栄に思います。

私はこの30年間大野を離れたことがありません。たまに旅行などで都

会へ出掛けても、うらやましいと思ったことはありません。

逆に、大野の美しい自然と温かい人情を誇りに思います。

大野の良さを大切に守りながら若者に魅力のある企業誘致や雪害対策などに力を入れていってほしいですね。

働き盛りの30代、市のますますの発展を、心から期待します。



悲願が実った越美北線開通 (35年12月)



北美濃地震で倒壊した家屋 (36年8月)

市役所庁舎の完成 (37年5月)



橋完成。

- 6月 市制5周年の祝賀祭。
- 8月 2代目市長に森広治兵衛氏就任。
- 10月 ごみ焼却場完成、能力1日11.3ト。
- 12月 君ヶ代橋完成。上庄小校舎改築。

昭和34年 1959

- 1月 選挙区(市議)条例廃止、1選挙区となる。
- 2月 第9回中部日本スキー大会。
- 8月 台風6号による豪雨、被害約3億5,000万円。
- 9月 駅東土地区画整理事業に着

越美北線が開通した昭和35年12月15日は、師走の大野には珍しく晴天

駅を埋めた日の丸の小旗

帰山 信二さん(春日2 54歳)

でした。開通に伴い、私はバス営業所から大野駅勤務となりました。初めての鉄道部門の仕事で、ずいぶん緊張しましたし、開通の前後は不眠不休に近い状態だったのを覚えています。

駅には、一番列車をひと目見ようと、日の丸の小旗を持った人々が朝早くから大勢詰めかけ、構内はもちろん、線路の両側にも人波

があふれました。

真新しいディーゼルカーがホームに着くと、人垣からは「万歳、万歳」の連呼。市民の悲願が達成されたという喜びが満ちあふれていました。当時、駅裏はまだ水田で、駅から真名川を渡る

汽車がよく見えたものです。



手。台風15号(伊勢湾台風)襲来、被害約4億円。

昭和35年 1960

- 3月 大野土地区画整理事業完成。有終西小校舎完成。
- 4月 義景保育園開設。東部中(仮称)を創立。
- 12月 庁舎改築に着手。15日、越美北線福井～勝原間が開通。下庄小の中保分校完成。

昭和36年 1961

- 7月 五箇公民館完成。
- 8月 八千代橋完成。市内の電話が自動化。19日、北美濃地震発生、被害約20億円。
- 9月 荒島にテレビ中継局完成。第二室戸台風襲来、被害約30億円。18日、災害救助法発令。

昭和37年 1962

- 4月 東部中を尚徳中と改称。六呂師小が独立。阪谷・上庄幼稚園開設。
- 5月 市役所庁舎完成、工費1億3,500万円。
- 7月 有終中に初の学校プール。森広治兵衛氏市長に再選。
- 9月 し尿処理場完成。



最深積雪306センチを記録した38豪雪

市内を水と土砂で埋めた「40.9風水害」



全日本ソフトボール大会
(40年8月)

昭和38年 1963

- 1月 「38豪雪」最深積雪 306センチ、被害約8億3,000万円。
- 3月 小池・飯降分校が廃校。
- 4月 春日保育園・乾側幼稚園を開設。市役所出張所を廃止。
- 5月 竜仙橋完成。奥越電源開発始まる。
- 12月 尚徳中学校舎完成。富田公民館完成。

昭和39年 1964

- 4月 富田幼稚園開設。土井利忠公の銅像建立。
- 7月 市制10周年記念行事。
- 8月 救急業務開始。
- 10月 南部土地区画整理事業に着手。
- 11月 打波川流域災害復旧工事終わる。
- 12月 佐開橋完成。

昭和40年 1965

- 3月 市民会館建設に着手。
- 4月 大野工業高校開校。小山幼稚園開設。
- 7月 食肉処理場完成。
- 8月 全日本ソフトボール選手権大会開催。

- 9月 「40.9風水害」14日、台風24号による集中豪雨(1,044ミリ)で死者2人、罹災世帯1,748戸。被害約44億円。
- 11月 あかね保育園開設。

昭和41年 1966

- 1月 第16回中部日本スキー大会。
- 3月 大野市農業協同組合が発足。

- 大野公民館完成。
- 6月 市民会館完成、工費は1億6,600万円。
- 7月 ごみ焼却場完成。
- 8月 第4代市長に寺島利鏡氏就任。富田小校舎完成。
- 9月 駅東土地区画整理事業完成。
- 10月 新町名を実施。
- 12月 上庄公民館完成。

忘れられない「40.9風水害」

山本 美代さん(春日3 66歳)



昭和40年9月の風水害は、一生忘れることができません。

当時、中島(旧西谷村)に住んでいたんですが、朝から降りだした雨は強くなる一方。午後には、空は真っ暗になり、バケツの水をひっくり返したような、土砂降り状態となりました。とにかく、恐ろ

しくてすさまじい降り方だったんです。夜になって、危ないのでみんな

避難しろということになり、文字どおり着の身着のままで高台の寺へ逃げました。

高台から、家が土砂で埋まり、水に流されるのをぼう然と見つめていました。

生まれて初めて、自然の猛威、水の恐ろしさというものを痛感しました。今でも、時々中島へ出掛けますが、なくなってしまった古里を思うと目頭が熱くなります。



喜びの越前大野城落成式 (43年 8月)



熱戦を展開した
国体の相撲競技
(43年 10月)

昭和42年 1967

- 6月 真名川ダム建設始まる。
- 7月 市営相撲場完成。
- 8月 全国高校相撲選手権大会を開催。
- 9月 財政再建準用団体に指定される。
- 10月 市会議員の定数を削減する

条例成立、定数26人に。

昭和43年 1968

- 4月 市営農場を廃止。
- 8月 越前大野城・郷土歴史館が完成。第1回域まつり。
- 10月 第23回国民体育大会、当市で相撲・ソフトボール・山岳競技を開催。羽生和永選手がメキ

第23回福井国体

秋季大会は、昭和43年10月に開かれました。大野は相

撲・ソフトボール・山岳の3競技の会場となり、熱気と興奮に包まれたものです。

私は、相撲連盟の一員として2年前から地元選手の強化育成に努めたほか、期間中は、各県選手団の受け入れや審判員として忙しく動き回りました。

今の駅東公園が相撲会場で、一般・青年・教員・高校の4部門合わせて500人余りの選手が力と技

熱気と興奮の福井国体

安川 裕城さん (下舌 48歳)

を競いました。連日、熱心な相撲ファンが多数訪れ、観客席は超満員。有名選手や地元選手が出る度に、大きな声援と拍手がおくられました。もともと大野は相撲人気の高い土地柄だけに、運営はスムーズにいったと思います。今でも懐かしい思い出です。



西谷村合併に伴う事務引き継ぎ (45年 7月)



シコオリンピックに出場。荒島保育園開設。

昭和44年 1969

- 1月 六呂師保育園開設。
- 3月 若生子小廃校。
- 5月 大野高校の校舎改築。
- 8月 上・下若生子廃村。小山小改築。
- 9月 大野市・西谷村合併協議会設立。
- 11月 初の農業祭開く。

昭和45年 1970

- 3月 宝慶寺小廃校。
- 5月 カドミウム公害問題発生。
- 7月 1日、西谷村を編入合併。
- 8月 寺島利鏡氏が市長再選。

昭和46年 1971

- 2月 大野市森林組合が発足。
- 3月 有終・小山・下庄・乾側の4中学校廃校。
- 4月 開成・陽明の統合中学校発足。北部土地地区画整理事業に着手。
- 5月 県立奥越高原牧場できる。
- 6月 日吉児童館開設。
- 7月 市営葬斎場完成。
- 10月 老人医療費助成制度発足。



60年の歴史の幕を閉じた京福電車

(49年8月)



真名川ダムの放水式

(52年10月)

市民憲章制定発表会



市民憲章の制定発表

(53年11月)

昭和47年 1972

- 3月 新用途地域決定。
- 4月 南部土地地区画整理事業完成。
- 6月 環境保全都市を宣言。
- 7月 大野・勝山地区広域市町村圏事務組合が発足。
- 10月 県奥越合同庁舎完成。蔵生塚原県営総合農地開発事業完成。
- 11月 国道158号線バイパス一部開通。上水道の基本計画できる。
- 12月 越美北線勝原～朝日間開通。

昭和48年 1973

- 3月 佐開遺跡発掘。打波小廃校。大野市振興計画まとまる。財政再建完了。
- 4月 市土地開発公社設立。
- 5月 駅東第二土地地区画整理事業認可。
- 7月 休日診療制度発足。大野地区消防組合が発足。
- 11月 地下水対策審議会設置。重要文化財「橋本家」復元。

- 12月 第1次林業構造改善事業完了。林道黒谷・河内線完成。

昭和49年 1974

- 2月 第24回中部日本スキー大会開催。
- 4月 北部保育園開設。
- 7月 市制20周年記念式典実施。陽明中校舎完成。寺島利鏡氏市長3選。
- 8月 京福電車大野～勝山間廃線。
- 10月 県道大野・墨俣線の温見峠開通。

昭和50年 1975

- 4月 大野・墨俣線が国道157号線に昇格。
- 11月 市営バス白山線運行。
- 12月 開成中校舎完成。

昭和51年 1976

- 1月 都市計画街路中挾・中野・大橋線開通。
- 4月 市史編さん室設置。

- 8月 国道158号線の馬返しトンネル開通。

- 10月 清掃センター建設に着手。

- 11月 有終会館オープン。

昭和52年 1977

- 3月 県営真名川発電所完成。
- 4月 大野気象通報所廃止。
- 10月 真名川ダム完成、工費352億円。
- 11月 地下水保全条例を制定。

昭和53年 1978

- 3月 有終東小開校。駅東公園完成。市史第1巻発行。
- 4月 清掃センター稼動。
- 6月 寺島利鏡市長死去。
- 7月 第7代市長に川崎泰彦氏就任。
- 8月 市街地南部地域で上水道建設に着手。
- 9月 市民憲章を制定。
- 11月 都市計画街路三番線の天神町～篠座間完成。



福田衆議院議長のお国入り
(55年8月)



皇太子ご夫妻のご視察(55年10月)



まだ記憶に新しい56豪雪

昭和54年 1979

- 1月 第29回中部日本スキー大会開催。上水道試験給水。
- 2月 乾側小校舎完成。
- 3月 労働福祉会館オープン。
- 5月 老人福祉センターオープン。
- 11月 ミノ又治山工事完成。乾側公民館完成。
- 12月 県立大野青年の家オープン。

昭和55年 1980

- 3月 市総合計画基本構想策定。
- 4月 し尿処理場の改築終わる。都市計画街路七間線の清滝川～富田大橋間開通。
- 7月 宝慶寺いこいの森オープン。有終南小校舎完成。
- 8月 福田一衆議院議長お国入り。大野市農協会館完成。
- 9月 名誉市民条例を制定。
- 10月 皇太子ご夫妻が当市をご視察。広域農道に架かる真名川大

橋完成。

- 12月 名誉市民第1号に福田一氏を推挙。農村婦人の家・小山地域開発センター完成。

昭和56年 1981

- 1月 「56豪雪」最深積雪 264センチを記録。復旧に陸上自衛隊が救援。被害約79億 6,000万円。
- 2月 北部第二土地区画整理事業始まる。
- 3月 義景保育園完成。
- 5月 勤労青少年ホームオープン。
- 6月 国際障害者年記念市福祉大会を開催。
- 8月 克雪市民会議発足。
- 12月 新君ヶ代橋完成。

昭和57年 1982

- 3月 健康管理センター完成。
- 4月 休日急患診療所オープン。
- 5月 六呂師で桜の植樹祭開く。
- 7月 ふるさと自然公園にミニ動

物園オープン。市長に川崎泰彦氏再選。八千代橋開通。

- 11月 越美北線の存続決定。

昭和58年 1983

- 1月 第33回中部日本スキー大会開催。
- 2月 市会議員選挙、無投票に。
- 3月 上庄小統合校舎完成。防雪基地管理棟完成。
- 8月 南部第二土地区画整理事業始まる。
- 9月 大野地域職業訓練センター完成。
- 10月 市役所機構改革。阪谷公民館完成。
- 12月 市会議員の定数を削減する条例成立、定数24人に。

昭和59年 1984

- 3月 中挾に鉄筋市営住宅完成。
- 5月 NHKと市民のつどい。
- 7月 市制30周年記念行事開催。

市の成人病検診では尿検査もしています。検査は簡単なものですが、これ1つで、いろいろな病気がわかります。

今回は尿と病気の関係についてお話しします。

私たちの体は、空気・水・食物を体内に取り入れ、分解して栄養にし、要らなくなった物は出すという精巧な働きをしています。この働きのサイクルが崩れた状態が病気なのです。

尿は体の働きの最終的な産物ですから、尿に異常があれば何かの病気が考えられるわけです。

糖やタンパクは異常

尿の成分はだいたい水分が95%で、固形分5%です。

1日の尿量は約1,000～1,500ミリリットルですので、固形分は50～75グラムということになります。

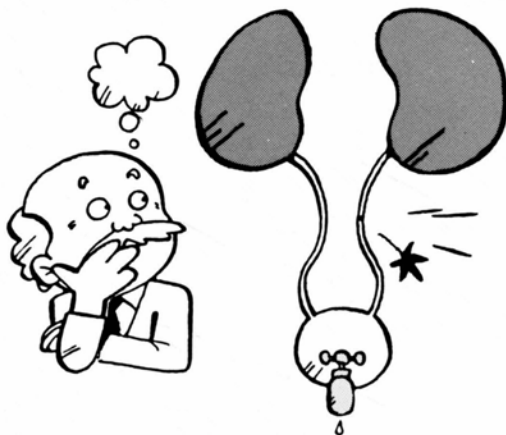
固形分の半分は尿素ですが、そのほか塩分やナトリウム・カリウム・マグネシウム・アンモニア・

尿酸などが含まれます。

糖・タンパク・ウロビリノーゲン・ケトン体・赤血球・白血球円柱などが検出されたときは異常です。糖やケトン体の出るときは糖尿病、タンパクはじん臓病やボウコウ炎、ウロビリノーゲンは肝臓

検尿でわかる病気

保健センター 山吉保健婦



病、赤血球や白血球円柱などはじん臓病や尿の通り道の病気が考えられます。ごくまれにですが、ガン細胞（ボウコウガンの場合など）がみつかることもあります。また、結石が動いて混ざるときもあります。

比重は朝が高い

尿は普通は麦わら色で弱酸性です。肉食すると酸性、菜食するとアルカリ性となります。尿の中の揮発性物質のため、独特のにおいがします。

糖尿病の場合は、酸っぱいにおいがします。食物や薬によっても変わります。

尿の比重は1日のうちでも変動します。朝、起きたすぐは濃い尿が出ます。変わらないということはじん臓に病気の疑いがあります。

尿の出方でも、チェックできます。回数が多かったり(10回以上)極端に少なかったり(2回以下)あるいは痛みを伴うような場合は病気が考えられます。(じん臓病・心臓病・ボウコウ炎・尿道炎・性病など)

ボウコウには約250～500ミリリットルの尿がたまると尿意を感じるようになっていきます。しかし、ボウコウ炎の場合は、わずかの量でも感じます。

このように、尿1つでもさまざまな病気をみつける手掛かりとなります。ぜひ、1年に1回は検診を受けてください。



⑦⑥ 山形家

城町2区の山形家には、枯山水の素晴らしい庭があります。昭和22年ごろに京都から庭師を呼んで造り、鞍馬石が使われています。

正面玄関の左側には「不識亭」と呼ばれるにじり口のある本格的な茶室があります。つくばい(手水鉢)や石灯籠のある露地があり縁側の敷石も、非常に吟味されたものです。

主人の山形甚吉氏は茶道・謡曲に親しまれる一方、俳句・盆栽・写真などの趣味ももっておられます。俳号を松風といい、昭和38年から句集としてまとめられています。「朝露に葉茎すずしき花菖蒲」「過疎よそに苔むす寺を護る僧」「新雲丹に箸染めて酌む藍浴衣」など、毛筆で和紙に美しく書かれ



ています。

床の間には、博文天山老納の書が飾られています。壁は京都の職人を呼んで塗った聚楽壁で、特殊な技法が用いられています。

山形家は先代が宝慶寺本堂を寄進し、最近建てられた宝物殿の建設にも力を尽くされ、曹洞宗とは深いかかわりがあります。

来客として宿泊された人の名簿の最初には、北野元峰禅師の名が書かれています。

住宅に隣接して、昭和初期に建てられた洋館が建っています。

この周辺は、市内でも最も静かなたたずまいです。(T)



16^ス映写機の講習会

市教育委員会では、16^ス映写機操作技術認定講習会を開きます。

〈日時〉 7月26・27日の午前9時
30分～午後4時

〈場所〉 市役所大会議室

〈対象〉 高校生以上の市民40人

〈経費〉 1人 500円

〈申し込み〉 所定の申込書に必要事項を記入して、7月20日(金)までに市教委社会教育課(6-1111内線 504)または最寄りの公民館へ

美術展にあなたの力作を

8月13～15日の3日間、市民会館で「第5回市美術展」を開きます。今年も次のとおり参加作品を募集します。あなたの力作をお寄せください。

〈部門〉 第1部…絵画・造形 第2部…彫塑 第3部…工芸 第4部…書道 第5部…写真

〈作品の大きさ〉 絵画は8～100号。造形は3.3平方^デ以内。写真は四ツ切以上1.5^デ×1^デ以内(組み写真も前記内におさめること)

〈出品資格〉 県内在住の高校生以上の人(県・中央展におい

スマイル

「はばたく大野」
ケッコー ケッコー
——風見鶏

市のシンボル決まる

鳥……ウ
木……グ
花……イ
……ス
……キ
……シ

市のシンボル選定委員会(坂本文雄会長、25人)は6月12日市の花・木・鳥にそれぞれコブシ・ケヤキ・ウグイスを決め、市に答申しました。市は7月1日の記念式典の席上で、正式に制定します。

市のシンボルは、市制30周年

を記念して決めました。

市民のみなさんから寄せられたはがきは895通。この中から、上位に候補を絞ったうえ、動植物の専門家の意見を聴いて決めました。

各シンボルの選定理由は次のとおりです。

☆コブシ(モクレン科の落葉高木)
▷純白の花をつけ、春の訪れを告げる▷市内の里山に自生しているうえ、街路樹としても採用されている

☆ケヤキ(ニレ科の落葉高木)
▷生命力が強く巨木になり、質実剛健の気風にマッチする▷専福寺の大ケヤキをはじめ、市内の農家の庭や寺社、亀山公園などに多く見られる

☆ウグイス(ヒタキ科ウグイス亜科の漂鳥)
▷鳴き声が美しく、昔から老若を問わず親しまれている▷低山地の広葉樹林に生息し、夏でも声を聞くことができる

て役員などの資格のある人を除く)

〈出品点数〉 1部門2点まで

〈出品料〉 1点につき一般1,000円、高校生500円

〈搬入・搬出〉 8月10日搬入(正午～午後5時)15日搬出(午後5～6時)

詳しい内容は、市教育委員会社会教育課(6-1111内線 504)へお尋ねください。

15日にミニ弁論大会

大野青年会議所(築川満理事長)は、市制30周年の関連事業として「ミニ弁論大会」を開きます。

小・中学生、中・壮年、お年寄りの3世代の代表に、21世紀に向けての意見・アイデアを堂々と発表してもらうものです。

どなたでも参加できます。多数ご来場ください。

〈日時〉 7月15日(日)午後1時～5時

〈場所〉 市民会館

〈テーマ〉 大野の将来(これからの大野)

〈発表者〉 小・中学生…各校から1人ずつ 中・壮年、お年寄り…若干名

防ごう非行

助けよう立ち直り

7月は「社会を明るくする運動」月間です。

今年の重点目標は「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」で「防ごう非行 助けよう立ち直り」が標語です。

特に夏休みは、学校生活から解放されて非行の芽生えやすい時期です。家庭はもちろん、近所やグループなど地域全体で温かく子供たちを守りましょう。

市民カレンダー

7月10日～7月24日

市の人口 6月1日現在

総数42,873人 (男20,633 女22,240) 10,590世帯

前月比 -24 -24 ±0 +3

10 ^火	交通事故相談 成人病検診	10.00～16.00 9.30～11.00	市役所 蔵生センター	今月の納税 固定資産税 第2期分 国民健康保険税 第1期分 31日までに納めてください。
11 ^水	結婚相談 行政相談	10.00～15.00 13.00～16.00	有終会館 有終会館	
12 ^木	心配ごと相談 成人病検診	9.00～12.00 9.30～11.00	市役所 富島センター	
13 ^金	健康体操教室 金融相談	13.30～15.30 10.00～16.00	保健センター 商工会議所	大きくなった活字 今月号から「市政おおの」の活字を、これまでの12級から13級に大きくしました。ご愛読をお願いします。
14 ^土	市民大学講座	19.00～21.00	有終会館	
15 ^日	盆 家庭の日 ミニ弁論大会 離乳食相談 ガソリンスタンド当番	13.00～ 9.00～12.00 (株)赤尾商店 大野給油所(大和町)	市民会館 保健センター (株)赤尾商店 大野給油所(大和町)	
16 ^月	やぶいり 勤労青少年 の 成人病検診	9.30～11.00	七板センター	青少年健全育成推進大会 <日時> 7月8日(日) 午後1時 30分～4時30分 <場所> 市民会館
17 ^火	産婦人科診療相談室 社会保険・年金相談 1歳半児検診	13.30～15.00 10.00～15.00 13.00～14.00	保健センター 織物組合 保健センター	
18 ^水	結婚相談 行政相談 3歳児検診	10.00～15.00 13.00～16.00 13.00～14.30	有終会館 有終会館 保健所	
19 ^木	土 用 婦人悩みごと相談 心配ごと相談 交通事故相談	13.00～15.00 9.00～12.00 10.00～16.00	有終会館 市役所 市役所	成人病検診 9.30～11.00 阪谷公民館
20 ^金	海の記念日 労働相談	13.00～16.00	商工会議所	表紙の説明 専福寺(友兼)の大ケヤキ。山門の東側にあり、樹齢約800年といわれます。根回り15 ^尺 、高さ16 ^尺 の巨木で昭和10年に、国の天然記念物に指定されました。 詩文は、坪内晋さん(堂嶋、73歳)から寄せられたものです。
21 ^土	農業結婚相談 市民大学講座	13.00～16.00 19.00～21.00	有終会館 有終会館	
22 ^日	巡回おかあさん教室 市民列車(ミステリー号) ガソリンスタンド当番	9.30～15.30 5.00～ (株)カワイ春日給油所	青年の家	
23 ^月	大 暑 人権悩みごと相談	13.30～16.00	有終会館	
24 ^火	成人病検診 婦人ガン検診	9.30～11.00 13.30～15.00 13.00～14.00	下庄公民館 保健センター 蔵生センター	

発行 福井県大野市 編集 企画広報課(電話 ⑥1111) 印刷 (株)松浦印刷

十年一昔というのが大野市が誕生してから三昔が経過した。二十九年にオギヤアと生まれた子は三十九歳だ。この「市政おおの」も、二十九年から発行を続けているから三十九歳。従って、風見鶏も三十歳になった。気取って言うならばナイスミドルといったところ。▼幼児期・少年期・青年期を経て、いまは壮年期を迎えた市政。その間、さまざまな出来事があった。うれしかったこと、つらかったこと、人生のようなもの。▼市政三十年のあゆみは、本紙六ページから十一ページに詳しいが、四十二年には赤字財政に陥ったこともあった。あのときには風見鶏の首も回らなかつたが、六年足らずで見事これを克服。また、大きな災害にも見舞われた。三八豪雪あり、西谷村が壊滅し大野盆地が水浸しとなった四十一年の集中豪雨あり、五六豪雪あり▼しかし、これらの災害を行政と市民がひとつとなつて力強く乗り越えてきた。いま、近代化された中にも、みよびやかさを持った奥越の文化のまちとして成長しつつある▼壮年期を迎えた大野市。やらなければならぬことが山積している。だが、市の発展は行政まかせでは望めない。市民の協力が不可欠だ。それには何はさておき、心の和が大切である▼ウグイスのような優しい声で語り合おう。純白のコブシのように美しい心で接し合おう。そしてケヤキのようにたくましくガッチリと肩を組み合おう。

(D)

